

中国運輸局・中国地方整備局の最近 の取組について

岡山県、山口県バリアフリー等地域連絡会議の開催

第5回岡山県バリアフリー等地域連絡期会議の開催

日時 令和元年10月16日（水）14：00～16：00
 場所 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
 （きらめきプラザ 401会議室）

- 内容
- ・講話「持続可能性について」
川崎医療福祉大学 特任教授 田口 豊郁
 - ・法改正の説明
 - ・構成員のバリアフリーに関する取り組み状況発表
 - ・意見交換（主なもの）
岡山空港での搭乗体験、様々な障害の横の連携の重要性、音響信号機の設置、精神障害割引運賃の導入、災害や事故発生時における情報発信、障害者の高齢化孤立化他

第5回山口県バリアフリー等地域連絡会議の開催

日時 令和元年12月18日（水）14：00～16：00
 場所 山口県庁1階 視聴覚室
 内容

- ・講話「パラリンピックを応援しよう!!」
公益社団法人山口県障害者スポーツ協会 課長 藤田 英二
- ・法改正の説明
- ・構成員のバリアフリーに関する取り組み状況発表
- ・意見交換（主なもの）
災害時等の列車の遅延の情報提供、ホテルのテレビの字幕表示、バリアフリーが必要な箇所の調査、精神障害割引運賃にかかる各交通機関の統一化他

●岡山県バリアフリー等地域連絡会議の様子



●山口県バリアフリー等地域連絡会の様子



バスの乗り方教室・バリアフリー教室の開催

特別支援学校のバスの乗り方教室

●特別支援学校でのバスの乗り方教室 (令和元年11月6日)



共生社会ホストタウンでのバリアフリー教室

●鳥取市バリアフリー教室(令和元年11月17日)



●宇部市バリアフリー教室(令和2年2月12日)



優れた取組の表彰について

第13回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞 令和元年度 中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰受賞

芸陽バス 株式会社

芸陽バス株式会社では、2016年に東広島市から認知症サポーターのステッカーのバス車内掲載の依頼を契機に、認知症サポーターの養成に関する取り組みを開始しました。以降、社長、幹部職員を含め、職員及び運転手を対象とした認知症サポーター養成講座を複数回実施し、会社全体で取り組みを積極的に行っている。

このような取り組みは、認知症の家族を抱える従業員への理解や地域では、実際に行方不明の認知症の方を保護するなど、多様な波及効果を生み出している。現在、このような取り組みを行っている事業者は少なく、今後、認知症の方が増加してゆくと予想される我が国において、先進的かつ意義深い取り組みであり、この事が高く評価されました。

社内での講習受講の様子



国土交通大臣表彰式



多機能トイレ利用マナー啓発キャンペーンについて

キャンペーン概要

東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、ハード整備と合わせた「心のバリアフリー」を推進。その取組の1つとして、平成29年度から「トイレの利用マナー啓発キャンペーン」を実施。

<参考>
 【ユニバーサルデザイン2020行動計画】(平成29年2月関係閣僚会議決定)(抜粋)
 「多機能トイレをはじめとするトイレの利用に係るマナー改善に向けて、公共交通事業者や障害者団体等と連携しながら、利用マナーの啓発を行うポスターやチラシを作成し配布するなどのキャンペーンを実施するとともに、高齢者、障害者等の移動等円滑化に対する国民の理解増進を図る取組である「バリアフリー教室」においてトイレ利用のマナー改善に取り組む等、「心のバリアフリー」を意識しつつ、多様な利用者がそれぞれのニーズに応じたトイレを円滑に利用できるようなトイレ環境の整備を図る。」

<ポスター/チラシ(2カ国語表記)>



令和元年度実績

■実施期間

令和元年11月10日(日)～12月9日(月)
 ・11月10日(日) いいトイレの日
 ・11月19日(火) 世界トイレの日
 ・12月3日(火)～12月9日(月) 障害者週間

■ポスター・チラシ配布枚数

・ポスター 約6,500枚
 ・チラシ 約86,000枚

■協力団体、機関等 (令和元年度は約1,700団体)

- ・公共交通事業者
- ・空港ターミナルビル会社
- ・道の駅
- ・高速道路会社
- ・地方公共団体
- ・ホテル*
- ・ショッピングセンター
- ・百貨店*
- ・ビル*
- ・行政機関

※1は、紙媒体の配布は行っていませんが、電子データ提供により適宜活用

■SNSを活用したマナー啓発

- ・国土交通省公式Twitter

■トイレの利用マナー啓発講座の開催

- ・運輸局主催のバリアフリー教室の1コマ

各地方局等の取組

- 庁舎内においてポスターの掲示を行う。
- キャンペーン期間中の「バリアフリー教室」において、ポスターの掲示、チラシの配布によりキャンペーンの周知を行う。また、可能な範囲でトイレ利用マナー向上に関するメニューを実施する。 ※バリアフリー教室でのメニューは通年で実施の検討、チラシの配布は必ず行う。

至 国道2号



国土交通省 中国技術事務所

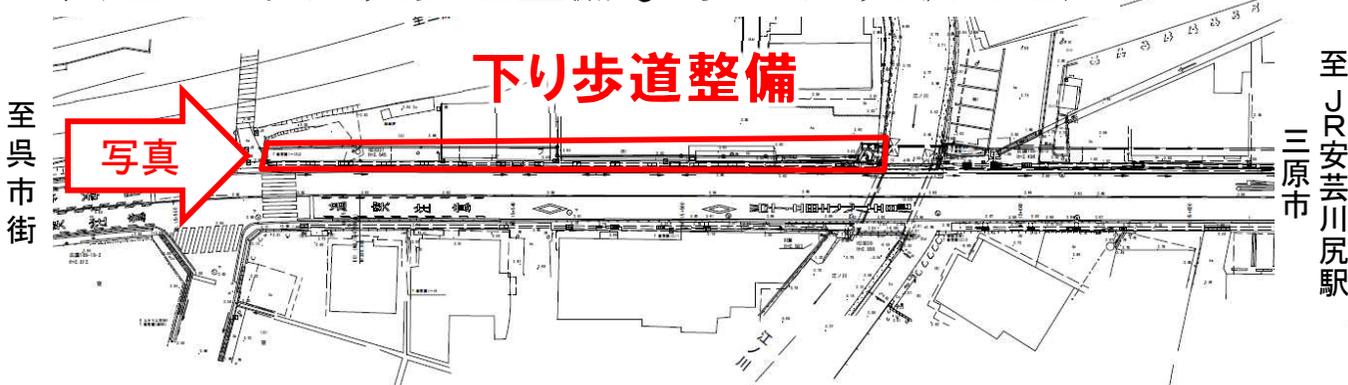


◆中国技術事務所には、人材育成としてバリアフリー体験施設が設けられており、中国技術事務所HPより体験学習の受付を行っています。（※事前申込が必要）

- ◆令和元年度 体験実績
 - 海田町社会福祉協議会（10名）、広島市・一般（4名）
 - 広島市新規採用・2年目技術職員実習（73名）他
- ◆参加者からの感想
 - ・利用者の立場にたって考える体験ができて良かった。
 - ・実際に体験することで、より現場を感じることができた。
 - ・これからは活かせることがたくさんあった。

・バリアフリー歩行空間による、安全・安心な歩道整備を順次実施中

■国道185号 川尻歩道整備 (JR安芸川尻駅付近)



■その他の整備事例

・電線類の地中化による幅広い歩道整備



・フラットな歩道整備

